



東日本大震災……石櫻精神……

歯科医師石櫻会
会長 山田 康平

昨年は3月11日の東日本大震災で未曾有の地震、津波など東北の沿岸を中心に多大の被害をもたらした復旧、復興の一年でした。歯科医師石櫻会会員を含め被災された皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。

歯科医師石櫻会では震災発生後直ちに沿岸に住んでおられる会員の安否を確認すべく情報を収集しました。4名の先生が被災されていましたが大きな怪我もなく安心しました。しかし自宅、診療所は全壊、半壊、床上浸水等大きな被害を受けておられました。6月の総会で会員の中から、「同じ石櫻の学舎を巣立った者として被災された会員が一日でも早く復興されるようお手伝いをしてはどうか、義援金の募金をしませんか」との声があり会員の皆さんに協力をお願いしましたところ多くの先生から義援金を頂戴し、4名の先生への支援に活用させていただきました。石櫻の仲間の深い絆、支え合いを当たり前と感じ行動する岩手高校、石櫻精神のすばらしさを改めて実感しました。

30数年前、今は亡き先輩とお会いしたとき校規の三大綱領に『積慶』、『重暉』、『養生』を校訓としてしていると話されたが学生時代はその真の意味を理解することはできなかった。今、教育の理想としてあげられている三大綱領が気になっています。3年間の学生生活の中で仲間を思いやり、支え合う優しい気持ちを養い、岩をも砕く強い心を持ち社会のため役立つ道を模索して歩む、そんな強く優しい心を教えられた気がします。学生時代はあまり話をしなかった同級生と暫くぶりで会うと懐かしく思わず声をかけてしまいます。会議、会合などで出席者の中に石櫻同窓生がいると解っただけで心強く感じます。“岩手高校は私達を人間としてあるべき姿に育ててくれた。”そんな気がしています。

被災された沿岸の先生方は早い時期に診療所を再開され、地元の皆さんの健康に貢献されています。心強い限りである。会員の皆さんも医療を通しお手伝いをすると共に変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

最後に歯科医師石櫻会会員、ご家族の皆様には健康に留意され幸多い年でありますよう御祈念申し上げます。

掲載内容

- ・ 巻頭言
- ・ 平成23年度総会報告
- ・ 平成23年度講演会報告
講演1(新20回生)
田中 健一 先生
講演2(平鹿総合病院歯科科長)
寺田 林太郎 先生
- ・ 本会大震災関連報告
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



平成23年度総会報告



平成23年6月18日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡本館において、東日本大震災の犠牲者に黙祷し、田中健一先生、寺田林太郎先生の講演後に平成23年度歯科医師石櫻会総会が28名の会員出席のもと開催された。田中健一副会長の開会の辞、山田康平会長挨拶の後、上原豊幹事の司会、池田健会員が議長を務め議事が進行した。中野廣一幹事長より平成22年度の会務報告、赤坂俊彦会計幹事より会計報告がなされ、伊保内利一監事より会務・会計内容が適切である旨の監査報告があった。平成23年度の事業計画等についても審議され、原案通り承認された。また、山田会長の続投も承認された。小山田榮二副会長の閉会の辞で閉会した。総会後の懇親会は、村井伸吾校長先生にもご臨席いただき、熊谷哲也幹事の司会のもと、横澤昭平先生のフォトコンテスト最優秀賞受賞、および大久保卓也先生学位取得祝いも行われ、盛会裡の内に次年の再開を期して中締めとなった。

講演1

「東洋医学を取り入れた 歯科治療の実践」

田中 健一 先生 (新20回生)
盛岡市開業



近年の食の急激な変化、生活環境や自然環境の悪化やストレスの増加により、免疫力は低下し、難治性の感染症や原因不明の疼痛、アレルギー疾患などが増加しているとの各医療分野からの指摘があります。口腔領域でも、原因不明の難症例に遭遇する機会が多く、このような症例には、従前の局所的、画一的な西洋医学的対応だけではなく、体全体を診る東洋医学(統合医療)的見地から行った処置が著効を奏することがあります。症例:38歳女性。主訴;左側下顎臼歯の持続性の自発痛、夜間痛による不眠。現症歴;他県A歯科にて左下④⑤⑥⑦にcast bridgeを装着。装着時から違和感と咬合痛があった。ご主人の転勤により転院を余儀なくされ本県B歯科受診。隣接智歯が原因と診断され、抜髄・根充処置を受け、4-5回受診するも症状が一向に緩解せず当院受診。治療経過;通常検査に加え、

BDORT (Bi-digital O-ring test) にて、原因歯の識別と適合抗生剤を選択。治療初日から、経皮ツボ通電法、井穴刺絡法、置鍼、足の反射区刺激療法と適合薬剤の投薬を行い、治療開始2日目、それまで約1か月間続いていた自発痛が劇的に改善した。

通常処置を行っても効果が上がらない難症例に東洋医学的手法を取り入れることにより急性症状が驚くほど早く消失し、快癒に至った症例を通じて、私の考える“東洋医学を取り入れた歯科治療の実践”について話をさせていただきました。今後さらに東洋医学を活用した症例の集積と結果の評価によって、より確実な診療の方向性を見だしてゆきたいと考えております。

最後になりましたが、貴重な講演時間を頂戴しながら、プレゼンテーション機器のトラブルで十分なお話が出来なかったことを心からお詫び申し上げます。(中野廣一抄)

講演2

「歯内療法の再考」

寺田 林太郎 先生
JA 秋田厚生連 平鹿総合病院 歯科医長



下顎側切歯 2 根管

下顎小臼歯 2 根管

根尖発育術

歯内療法は他の歯科治療と異なり、目視できない所を目視できないままに行うことによって難しいものになります。加えて、根管の解剖学的多様性、診断の困難性、口腔内の制限等から更に難しくなります。しかし、歯内療法は多くの場合、疼痛からの解放、最終的には補綴治療の基礎となる重要な治療です。歯内療法において、新しい技術、材料、薬剤、器具等が開発されていますが、正しく理解せられず、誤解されたまま放置されています。そこでもう一度歯内療法を見つめ直し、成功へ導く方法を再考します。と言う内容で寺田先生の講演が始まりました。1 根管拡大: 抜髄の場合は炎症歯髄、感染根管の場合は根管内の汚染部室の除去を目的にした根管拡大には、根尖部から拡大する方法、歯冠部より拡大する方法や、両者を併用する方法があります。具体的な内容は省略します。いずれの方法でも#20-25で作業長まで到達しておくことや根管を詰まらせないようにすることが重要です。そのためのテクニックは講演でお聞きした

通りです。

2 根管清掃: 根管清掃には、根管消毒剤として用いるもの、根管洗浄剤として用いるものがあり、根管拡大と併せて根管治療には大切な作業です。それぞれに用いる薬剤の特徴を理解して用いることが重要とのことでした。

3 根管充填: 根管充填材や糊剤にはいろいろな種類がありますが、結局何を使用してでも根管拡大と根管清掃をきちんとやらなければだめだということです。また、根管充填の方法(側方や垂直加圧など)もいくつかありますがどれも同じだそうです。(overよりは4mmまでならunderの方がいいかも)

つまり、根管拡大が大事?それとも根管充填が大事?ということを考えさせられました。そして今までの自分の根管治療の考え方を一新してくれるようなすばらしくかつ面白い講演でした。最後に、時間がなく、寺田先生にはご迷惑をおかけしたことをお詫びして、再度講演を依頼したいと思いました。

東日本大震災で被災された歯科医師石櫻会会員関連報告

3.11の大震災で大きな被害に遭われた本会会員は、山田町の千代川泰久先生 (新10回生)、宮古市の伊藤篤先生 (新23回生)、道又元先生 (新24回生)、野田村の村田昌明先生 (新24回生) の4名の先生でした。

過日、被災された会員のための義援金・見舞金の募金を募りました所、多くの会員から、合計20万円の募金を頂戴いたしました。被災された各先生から御礼のお手紙が届いておりますので掲載させていただきます。

皆様お元気で、再出発に向け頑張っておられます。早く元の生活に戻れますよう、同じ学舎を巣立った仲間として、これからも応援してゆきましょう。

差し支えなければ、近況等お知らせいただけますと有難いです。

今日は過分のお見舞いを拝受け大変
恐縮しております。
心から厚くお礼申し上げます。
お陰様で自宅の改築(再建)工事を
終え、再出発したいと思います。
これを皆様のあたたかいご支援が
あってこそ感謝しております。
本当にありがとうございます。
本日拝受け見舞金は改築資金の
一部として使わせていただきます。
お礼を、歯科医師石櫻会の益々
のご発展をお祈り申し上げます。

平成23年9月8日 千代川泰久

差し支えなければ、近況等お知らせいただけますと有難いです。

このたびは義援金をお送りいただき、誠に
ありがとうございます。
早いもので、震災発生から間もなく半年が経
過しております。
おかげさまで5月13日より診療を再開しま
した。診療室自体が2階にあるので被害を最小
限にとどめることができ、比較的早く再開す
ることができました。
自宅の方は1階が完全に水に浸かり、居住不
可能のため、市内に借家を借りて通動してい
ます。現在修復工事中ですが、もうしばらくか
かりそうです。借家が見つかるまでの1ヶ月余
り、電気も水もないサイバブル生活でした。
当地区は街並みが完全に崩壊、消失し何もな
い状態です。これからどうやっていくのか見
当もつきません。いやはやです。
まずは御礼まで。皆様によりしくお伝えさ
し。

〒027-0006 宮古市銀ヶ崎上町8-20
道又元

差し支えなければ、近況等お知らせいただけますと有難いです。

歯科医師石櫻会各位殿
前略
この度は義援金を頂戴いたしましたことがあり
ありがとうございます。皆様もいろいろと被害
がある中で大変恐縮しております。本来であ
れば頂けないところですが、せっかくのご好
意で集めて頂いたと思いますので、大事に
使わせていただきます。

私のところは自宅が大規模半壊でした。現在
は1階の床下と壁の隙出しをしてあとはそのまま
放置をしております。改築するには様々な問
題があり苦慮しております。診察室は床下浸水
で一部損壊状態でした。ただ海水とい
うことで床下にある機械や配線が時間の経過
と共に不具合もできています。しかしながら
全壊の先生方と比較したら私はいいほうだ
と思っています。

石櫻会の皆様と多くの仲間の方から温かい
お心を頂き、ただただ感謝であります。い
ずれ次の会の時でも皆さんにはお礼を申し
上げさせて頂きたいと思いますが、会長先
生はじめ幹事の皆さんにお手数をお掛け
して申し訳ありません。今回は本当にあり
ありがとうございます。

早々
平成23年9月9日
村田昌明
村田昌明

差し支えなければ、近況等お知らせいただけますと有難いです。

皆様からのAEFへの御支援を
心からお礼申し上げます
誠にありがとうございますE

平成23年9月9日 伊藤篤

平成23年度 歯科医師石櫻会 総会・講演会・懇親会 参加者のご紹介 (敬称略)



後列左から：田中 俊、大久保卓也、小山田 晃、徳富文彬、久保田文彦、波紫修一、赤坂俊彦、中村行寿
中列左から：熊谷哲也、亀田幸宏、渡辺充泰、八重樫良昌、関 克典、徳富 亘、上原 豊、西郷史郎、柳澤 泰、田中崇一
前列左から：村上 修、米内 正、伊保内利一、田中健一、村井伸吾校長、山田康平、横澤昭平、寺田林太郎先生、小山田榮二、池田 健、中野廣一

石櫻トピックス

石櫻同窓会のホームページ (<http://www.sekiou-ob.com/>) には、大震災に被災された方への激励のメッセージや支援活動に健闘している同窓生の様子が書かれています。ぜひ一度アクセスしてみて下さい。高橋克彦さん(新19回生)のメッセージを見つけました。「大地にしっかりと根を張り、柔らかな心ながら頑固な岩をも割る思いを持ち、自身の咲かせた美しい花を他人の喜びと変える。我ら岩手高校の卒業生はだれしものがそれを胸のそこに秘めている。そしてそれは、今の東震災を乗り越える一番のキーワードではないのか。」

(村上修記)

石櫻同窓会

〒020-0062 岩手県盛岡市盛岡7-60
TEL: 019-624-4455 FAX: 019-651-3454
E-Mail: info@sekiou-ob.com



役員名簿

(任期:平成23年4月1日-平成25年3月31日)

- 会 長 山田康平
- 副会長 田中健一, 小山田榮二, 小豆嶋正典
- 幹事長 中野廣一
- 幹 事 柳澤 泰, 上原 豊
- 学術 赤坂俊彦, 西郷史郎
- 会計 熊谷哲也, 内田良夫
- 庶務 亀田幸宏, 波紫修一
- 名簿 関 克典, 久保田文彦
- 広報 道又 元, 村田昌明, 佐々木正博
- 地区 大久保卓也 (学術と兼務)
- 学内

顧問 岡田宗二, 横澤昭平
監事 桂 啓文, 村上 修 (敬称略)

幹事会記録 (抜粋)

平成23年度第1回幹事会

日時:平成23年6月2日(木) [於:「若竹」]

出席者:山田康平会長、田中健一、小山田榮二副会長、中野廣一幹事長、村上修、赤坂俊彦、柳澤泰、関克典、亀田幸宏、久保田文彦、上原豊、熊谷哲也、波紫修一、大久保卓也の各幹事、桂啓文監事(敬称略)

3.11の未曾有の災害にみまわれたが、例年通り総会、講演会等を開催し、石櫻の絆をさらに強めようとの会長の挨拶があった。

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告:平成23年2月16日幹事会▼6月18日総会、講演会▼4月:総会、講演会の案内、会費自動振込み用紙、会報第3号の発送、5月:2回目の案内発送。

(2) 赤坂会計担当幹事より平成22年度の会計報告:

<収入>収入合計423,053円(内訳:当日会費6,000×23=138,000、当日年会費5,000×11=55,000、振替入金5,000×27=135,000、振替入金5,000×17=85,000、雑収入10,000、決算利息53)

<支出>支出合計357,207円(内訳:総会費207,480、講師謝礼70,000、車代10,000、資料作成費等46,855、弔電3,538、見舞金(2件)10,000、振替手数料420、自動振替手数料8,914)

<収支>423,053円-357,207円=65,846円

2) 審議事項

(1) 会長、監事の選出選挙について

・立候補締切日を過ぎてても立候補届出が無く、幹事会としては山田会長の留任続投と、桂監事の留任、伊保内監事に代わり村上修幹事を新監事として推挙し総会に諮ることになった。

(2) 会場について

・H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇親会を行う。

(3) 講演会について

・寺田林太郎先生(世話役:柳澤泰先生)と田中健一先生。

(4) 来年度の講演会の講師について

・近藤尚知先生(岩手医大インプラント科)と大久保卓也先生(新41回)
(文責:熊谷哲也)

平成23年度第2回幹事会

日時:平成23年2月29日(水) [於:「寿し利」]

出席者:山田康平会長、田中健一、小山田榮二、小豆嶋正典副会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、柳澤泰、関克典、亀田幸宏、上原豊、熊谷哲也、波紫修一、西郷史郎、大久保卓也の各幹事、村上修監事、横澤昭平顧問(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告:6月18日総会、講演会、懇親会(28名参加)▼会員から義援金を募り33名から20万円の釀金があった。昨年9月に被災会員4名に各々5万円送金した▼平成24年度講演会外部講師は、近藤尚知先生(岩手医大インプラント室長)のご都合(岩手医大・ハーバード大共催セミナー)により、成石浩司先生(同大う蝕抑制学分野准教授)に変更になった。近藤先生は次年度に順延▼平成23年6月16日:武田秀雄先生(新24回生)ご母堂様御逝去:会から弔電。7月8日:桂啓文先生(新14回生)ご母堂様御逝去:会からお香典。12月26日:関克典先生(新34回生)ご尊父様御逝去:会からお香典。

(2) 赤坂会計担当幹事より平成23年度の会計中間報告:

<収入>収入合計487,132円(内訳:当日会費6,000×23=138,000、当日年会費5,000×11=55,000、振替入金5,000×27=135,000、振替入金5,000×17=85,000、雑収入10,000、利息53)

<支出>支出合計357,207円(内訳:総会費240,182、講師謝礼70,000、車代10,000、総会資料作成費・送料34,837、会印作製費12,600、慶弔費13,507、自動振替手数料5,922)

<収支>487,135円-387,048円=100,087円

(3) 波紫名簿担当幹事より、会員名簿の充実のためには母校からの情報収集が不可欠であることが示された。

(4) 山田会長から石櫻同窓会(H23/11/27)に出席し、石櫻同窓会活性化委員会(村井委員長)が発足した旨の報告があった。

2) 審議事項

(1) 平成24年度総会・講演会・懇親会に関する件

・6月16日(土)夜6時から、メトロポリタン盛岡本館にて開催。
・講師は大久保卓也先生(新41回生)と成石浩司先生(岩手医大)

(2) 平成25年度講演会講師に関する件

・柳澤泰先生(新31回生)と近藤尚知先生(岩手医大インプラント科)

(3) 平成26年度以降の講演会講師に関する件

・内部講師:平成26年度米内正先生、27年度亀田幸宏先生予定。
(文責:熊谷哲也)

事務局からのお知らせ

■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込みをお願いいたします。銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手続きを宜しくお願いいたします。

■ 「銀行振込み口座」

東北銀行 大通支店(支店コード103)

(普通) 3162801 歯科医師石櫻会 会計 赤坂俊彦

■ 「口座振替依頼書」のお手続きの問合せ・送付先

〒020-0016 盛岡市那須川町29-2 赤坂病院歯科

歯科医師石櫻会 会計 赤坂俊彦 宛

TEL:019-624-1225 FAX:019-623-1825

■ みなさまの声を寄せて下さい

本会についてのご意見・ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中・高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせ下さい。

歯科医師石櫻会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70

くまがい歯科クリニック内

TEL/FAX:019-632-1188

E-mail:tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

早いもので、忌まわしい3.11の大震災と大津波から1年余月が過ぎようとしています。過日、義援金をお願いしたところ、内外の数多くの会員から浄財を頂戴いたしました。不屈の精神を持ちながら、他者を思いやる熱き石櫻精神を垣間見た思いがいたしました。

昭和52年(1977年)に発会した歯科医師石櫻会は、今年で35年目を迎えます(会報第2号参照)。今年の総会・懇親会(6月16日)は「被災会員を励ます会」を併催するため、「歯科医師石櫻会設立35周年記念会(仮称)」は繰り延べて来年の開催となる予定です。同じ石櫻の学舎を巣立った歯科医師が一同に会し、さらに「絆」が強まることを期待してやみません。(中野廣一記)